

会 議 名	所信表明演説会（副議長選挙）		テーブル番号
			—
開会年月日	令和3年5月12日	開会時刻	午後 0時02分
		閉会時刻	午後 0時14分
議員 出席 名 委員	選考委員会委員長 田立 恵子、選考委員会副委員長 村田 雅利、 議 員 池辺 貢三、 議 員 大塚 英一、 議 員 貫野幸治郎、 議 員 高橋 登、 議 員 谷野 司、 議 員 中谷 昭、 議 員 中村与志子、 議 員 野田 悦子、 議 員 林 哲二、 議 員 堀口 陽一、 議 員 丸谷正八郎、 議 員 溝口 浩、 議 員 村岡 均、 議 員 森下 巖		
議員 欠席 名 委員			
理事者側出席者			
案 件	1. 野田議員による所信表明演説		

(午後0時2分 開会)

○**田立選考委員会委員長** それではただいまから、副議長選挙に係る所信表明演説会を開催いたします。なお、質疑につきましては事前の申し合わせにより同一会派から1名、5分以内でということになっておりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

それでは野田議員、所信表明をお願いいたします。野田議員どうぞ。

(野田議員登壇)

○**野田議員** 改めまして、余分なお時間いただきまして申し訳ございませんでした。

最初にこの昨年から続くコロナ禍の中、大阪は今医療が逼迫というよりは破綻の危機に瀕していると言われております。そんな中で本市でもコロナにかかる方が増えてきている。ワクチンが待たれる中、市の精一杯の努力の中にも、予約の電話がつながりにくいというようなお声もたくさんいただきました。こんなときだからこそ、皆さんと一緒に、力を合わせて議会運営を進めていかなければならないと思っております。この度推してくださる方もあり、副議長へ立候補の決意をいたしました野田悦子です。ただいまより副議長の立候補に当たりましての所信表明をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

議会という場は、様々な方が、様々な経験をされてこの場にいられています。議員という立場になるに当たり、私はといえばこの泉大津市で生まれ、育ち、そして学び、子育てをし、今に至ります。本市で長らく地場産業に関わったお勤めもしております、その中で私自身は子育てをしながら、生活をするのに何とかやっていける状態ではありますけれども、多くの女性からつらい、このままでいいとは思わないけれどというようなスキルアップが難しい状態、そしてまた同時期にDV被害に遭っている、独立したいけれども今まで働いたことがないというようなご相談を受けたりということで、女性支援をしたいという思いから、まず最初そこに至り議員を目指す決意をいたしました。その後どうして女性支援をしたいのかと思うと、子育て、子供たちの笑顔のためにお母さんがまず笑顔でないといけないということからそれに思い至ったということに気づきました。いろんな活動をさせていただく中で、それ以外の弱い立場の方々、そして障害を持つ方にも出会いました。そのような弱い立場の方々、光が当たりにくい、行政の手が届きにくい方々に、私たちが何ができるのか、議員の力はペンライトでこの大きな広い泉大津市の隅々この暗闇をほんの少し一瞬照らすだけかもしれません。それでも議員の一人一人が違う場所を照らせば、より多くの闇のところに、手が届かないところに光が当たるものだと思います。

私はこの間、6年間の議員生活の中で、一昨年からは議会運営委員会から独立した広報広聴委員会の委員長をさせていただきました。委員長という立場になるのは初めてで、いろんなところで皆さんに助けていただきながら、いろんなところでお声をかけていただき、そしてまた皆さんと共にいろんなことを進めてまいりました。今回の議長の立候補の所信表明の中にも、そしてまた先の池辺議長のご挨拶の中にも、この広報広聴でしてきた問題をいろいろと挙げていただきました。

まず議会だより、読みやすいものにしたい。その思いから文字を大きくしたり、色を考えたり、表題の付け方を変えてみたり、そういうところも取り組んでまいりましたし、市民アンケート、こちらのほうは昨年12月にホームページに載せるというところまで皆さんとしてまいりましたが、その後精査も、それを生かしてどうやっていくかということも、まだ途

中でございます。今回、もし皆様方にご承認いただければ、次は別の側面からそのことにも取り組んで応援をしていきたいと思っています。

そしてこの議会から派遣をされる組合議会の派遣議員として、泉北環境施設整備組合のほうでは、2度の副議長を経験させていただきました。前は墓地組合議会のほうで議長も経験をさせていただくことができました。やってみて分かること、やってみてだからなんだということ、たくさん経験しました。その中で気づいたことは、私一人でも、そしてまた皆さんお一人お一人でも何かができることではない、そして市長お一人でも、理事者だけでも何かができるのではないということです。皆さんのお力を合わせて出てきた議案に対してだけではなく、私は議員条例でも出したいというふうに思ったままで取り組んでいない1つのこともあります。手話言語条例につきましても、取り組んで今他の議会では常に議会に手話通訳の方がいらっしゃるというところもあります。インターネット配信のときには、ここにテロップが流れるというところもあります。コロナ禍でマスクをすることによって、議会のインターネット配信を見ても、読み取ることができないという方がたくさんいます。皆さん手話と議事録とは違うということに気づいてください。議事録では熱が伝わらないんです。議事録では思いが伝わらないんです。そういうところにも取り組んでいきたい。皆さん方と手を携えて、そしてやれることをやっていきたい。議会の基本、民主主義の根幹であるこの議会では、議論、討論することも大切だと思っています。問題があればそのことについて、しっかりと話し合う、そのことは必要だと思います。その上で、先ほど今回議長に就任されました丸谷議長はおっしゃいました。どこかで決断する必要はある。それもそうなんです。そのために小さな意見もしっかりと集約していく、そのお手伝いをさせていただければと思っています。まだまだ私自身、人間としても議員としても未熟でございます。皆様方から見て足りないところ、不足に思うところもあるかと思っています。その中でもこの機会を得られましたら成長して、そして1つまとまった泉大津市議会をつくっていく一翼を担わせていただきたいと思っております。どうぞ皆様方、私に対しまして承認、ご推挙いただきますようお願い申し上げます。

○**田立選考委員会委員長** 以上で野田議員の所信表明は終わりました。これから野田議員に対する質疑に入ります。質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○**田立選考委員会委員長** ないようでありますので以上で質疑を終わります。

野田議員は自席にお戻りください。

以上で泉大津市議会副議長選挙に係る所信表明演説会を終了いたします。

(午後0時14分 閉会)